

むさしNet

(発行)

*働きやすい職場をめざす

(連絡先) ルネサス武蔵の会

*東村山市恩多町3-11-18 谷口利男

*電話・FAX ; 042-394-0937

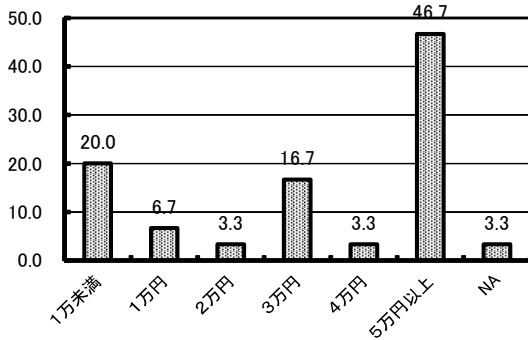
*メール; musashinet@jcom.home.ne.jp

*要望・意見を気軽にお寄せ下さい。

16春闘アンケート結果

電機労働者懇談会は、16春闘要求アンケートを全国規模で取り組み、ルネサス単独で集計した結果、70%が生活の厳しさを訴え、生活改善には3万円以上が67%に達し、加重平均では3万4138円になっており、16春闘に大きな期待をかけていることが明らかになりました。

生活に必要な月の増額



ルネサスの第3四半期(4~12月)の連結決算は、売上高が14%も減少している中で営業利益が10%も増益、純利益は4%の増益となりました。2016年3月期決算の予想では売上高13%減、営業利益4%減、最終損益も0.4%減となる見通しを発表しています。(右表を参照)

	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	前期比
売上高	8,330	7,910	6,900	-1,010
営業損益	676	1,044	1,000	-44
純損益	-52	823	820	-3

ルネサスの発展には戦略的経営が必要

人件費の大幅減で黒字化を達成する

ルネサスは一時の経営危機を乗り越え、15年3月期に通期で初めて黒字化を達成し、見通しでは2期連続の黒字を確保します。マスコミでは「構造改革効果」で採算性が改善したと報じていますが、職場内では、一律「7・5%の本給減額」に続いて、関連会社への転籍でさらに本給が減額になる処遇制度の大改悪による、人件費の大幅減額によって成し遂げられたものと評されています。

経営統合後のルネサスの売上上げは年々減少を続けており、社内でも心配の声が出されています。

マスコミでも、将来の自動運転化時代を見据えて、自動車向け半導体を成長の柱として来たが、中国経済が減速して市場が縮小すれば、業績にマイナスの影響が及び、自動車向け半導体で世界シェア首位から2位になったと報道されています。

再編路線をどうするか不安

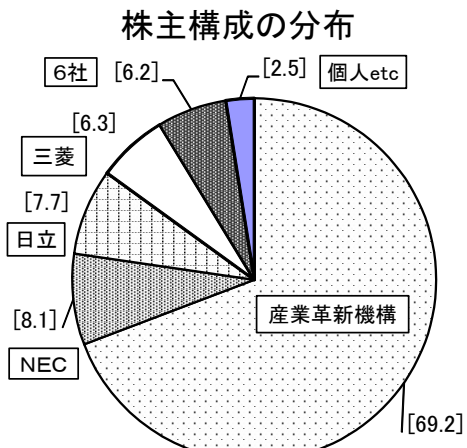
昨年の12月末、遠藤会長CEOの退任時における社内説明では社員の納得が得られていない状況になっていると言われています。

マスコミでは、昨年6月に会長に就任した遠藤氏は、成長戦略としてドイツ半導体大手など海外勢との再編を模索し、他の株主から「日本の技術流出につながる」な

ルネサスの大株主構成！

ルネサスの株主構成の分布

柴田最高財務責任者は「現在のいびつな資本構成が早期に解消されることが望ましい」と述べたと報道されています。



どの反対意見が出された為に再編路線が頓挫した形と言われ、今後、単独で生き残りを図るのか、それとも再び再編を探るか、早く路線を定める必要があると指摘されています。

困ったこと心配ごとの相談は、**電機・情報ユニオンへ**
電話 ; 03-6421-5323
<http://www.denki-joho.jp/>

KPIの反映は時期尚早では

会社は、来年度の一時金から組織ごとのKPIを原資配分に反映させる方針です。しかし、KPIが本当に目的通りの効果を上げているかどうか、どこまで検証されているのか疑問です。現在設定されている組織KPIの中には、本当に指標として相応しいのか疑問を持たれているものもありますし、また、部門間で相克になるものもあります。自分だけでなく職場の仲間みんなの利益を守りたいという心理から、管理職の指示のもとにKPIの数値合わせに走ってしまい、結果として全体最適を損なうような現象が、日常的に起きている様に見えるのは気のせいでしょうか。まずは今のKPIが適正なのかどうかなどを検証する方が先で、そのためには損得勘定をしなくて済む環境であることが必須だと思います。(投稿)



東芝青梅閉鎖反対の市民集会開催

電機・情報ユニオン、電機懇、東芝の会で構成された、東芝のリストラを許すな！実行委員会(準備会)は、2月6日(土)午後「東京土建西多摩支部会館3階ホール」で「青梅工場閉鎖反対！東芝は雇用と地域経済を守れ！」東芝のリストラを許すな！2・6市民集会を開催し、全労連・東京地評・三多摩労連・西多摩労組連、三多摩法律事務所、電機職場と地域などから110人以上が参加しました。

市民集会では、東芝の長年にわたる粉飾決算によって企業の

日立超Lで追出し部屋撤廃を勝ち取る！！

日立超Lの職場では、2014年の早期退職に応じなかった労働者を転職支援会社「パソナ」に出向させていましたが、今回や日立株主総会などでの追及した結果、2016年1月の人事異動で廃止され、その労働者の配置換えを実現させる事が出来ました。

社会的頼失墜を招き、2016年3月期には7100億円を超す巨額赤字が予想され、昨年12月に経営再建と称して、1万6000人の人員削減、青梅工場の閉鎖、事業部門の売却などのリストラ策はいずれも労働者の雇用と地域経済に重大な影響を及ぼす内容が明らかになりました。さらに東芝の粉飾決算は、原資メーカーの米WH社の買収疑惑での隠蔽工作から始まり、今回のリストラ策でも労働契約承継法に基づかない脱法行為で実施する事が告発され、東芝に社会的な責任を果たさせることを確認しました。

休憩室

- ◆「9条改憲に踏み込む」自民党は国防軍創設？安倍政権は何処まで！
- ◆「マイナス金利」経済が悪化に転換！私たちの生活は？
- ◆「4人目の辞任」甘利経済再生相辞任金にまつわる疑惑！
- ◆「覚醒剤で逮捕」プロ野球の有名人青少年に影響あり！



絵手紙でご挨拶

編集後記

職場の皆さんには久しぶりの「むさしNet」を届けます。ルネサスの経営施策の改定で4月1日から子会社のRSDに転籍させられた人も含めてルネサス本体に復帰させる事が昨年末に「白紙」とされました。労使協議がされていた最中での出来事であり、今後どうなるのかと心配されていると思います。経営者は職場が不安に駆られないようにすべきであり、労使協議の場でも猛省を求めたいと考えます。(T)